

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

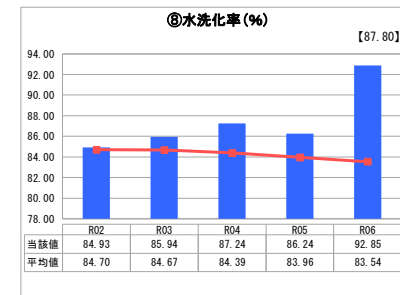
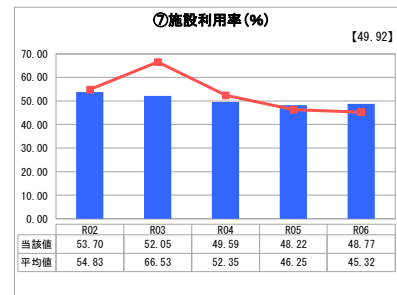
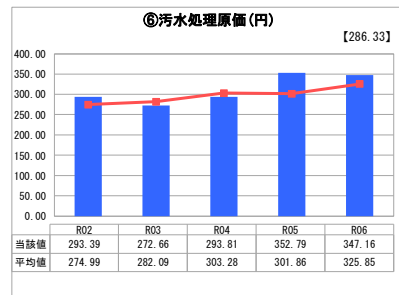
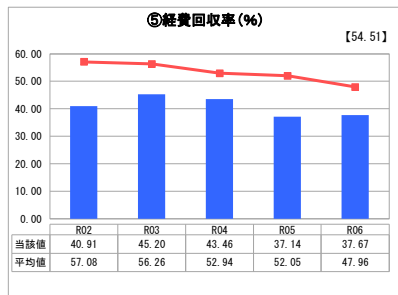
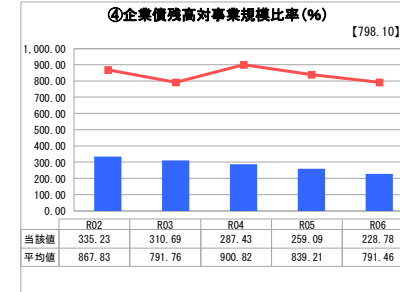
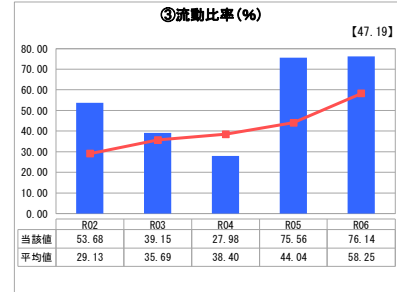
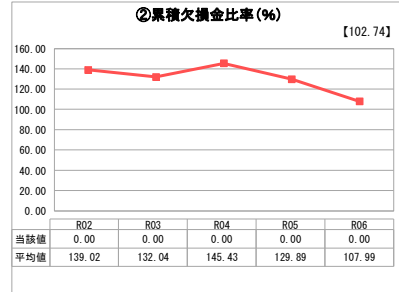
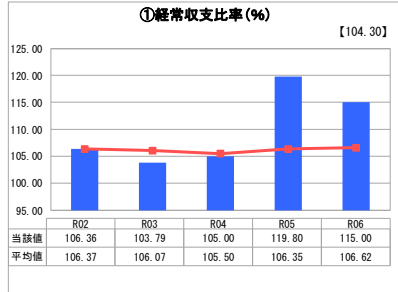
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	73.77	2.35	100.00	3,039

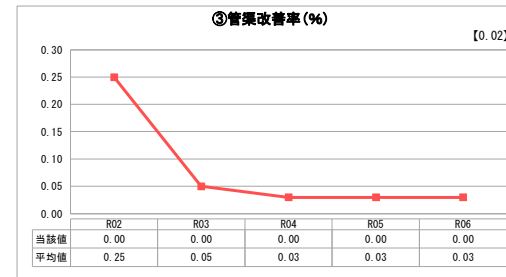
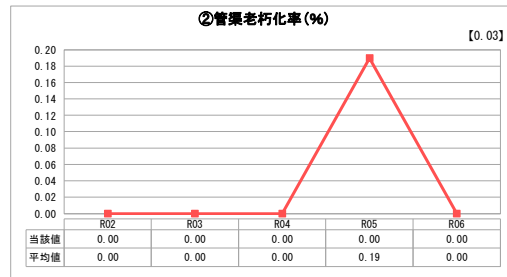
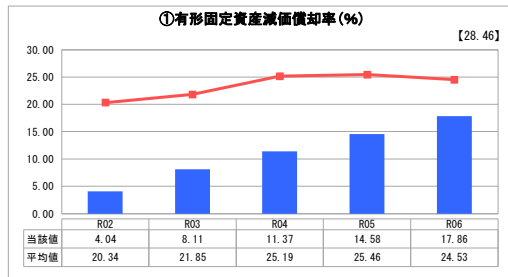
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
33,471	15.95	2,098.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
783	1.40	559.29

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率→類似団体・全国平均を上回り、収支が黒字となっていることを示す100%を上回っているが、使用料収入の不足分を一般会計からの繰入金で補っている状況にある。  
 ② 累積欠損金比率→なし。  
 ③ 流動比率→類似団体・全国平均を上回り、前年度から0.58ポイント増加している。比率は100%を下回っており短期的な債務に対する支払能力が確保されていない状況にある。過去の建設投資に対する企業債の償還額が大きく、償還の財源を一般会計からの繰入金で賄っている。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率→類似団体・全国平均と比較して大幅に下回っており、減少傾向で推移している。  
 ⑤ 経費回収率→類似団体・全国平均を下回っている。当該比率は100%を下回っており、汚水処理費を使用料で賄えず、一般会計からの繰入金を補っている状況にある。  
 ⑥ 汚水処理原価→類似団体・全国平均を上回っている。有収水量は横ばいに対し、材料費・人件費等の高騰により、増加している状況にある。  
 ⑦ 施設利用率→類似団体を上回っているが、事業規模が小さく、かつ市街化調整区域内にあるため、人口増など大幅な改善が見込めないため、最悪整備構想に基づき、公下水道への接続に努める。  
 ⑧ 水洗化率→類似団体・全国平均を上回っているが、施設の有効活用を図るため、さらなる接続に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率→類似団体・全国平均を下回っており、法定耐用年数に近い資産は比較的少ない状況である。今後は老朽化が進むことが見込まれるため、最悪整備構想に基づき公下水道への接続を行う。  
 ② 管渠老朽化率→なし  
 ③ 管渠改善率→なし

## 全体総括

経営状況については、使用料収入のみでは必要な経費を賄えず、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。さらに、材料費・人件費の高騰で汚水処理費の増加したことにより、厳しい経営状況が続くと想定される。そのため収支改善をはかり、経営基盤の強化に努める必要がある。処理場の改築、更新が本格的に必要となる前に、令和5年度に策定した最悪整備構想に基づき、公下水道への接続することで、改築、更新などの費用を抑えることが期待できる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。